

阪神大震災罹災の方々に心より
お悔みを申し上げます。
記憶に残っていた諺に、恐い表
現として「地震・カミナリ・火事・
おやぢ」とか、心の戒めとして「有
ると思うな親と金、無いと思つな
運と災難」等と言い伝えられて來
たが最近、目・耳に親しまなくなつ
ていた。此の様な表現が昔から有
つたと言う事は、吾が国の歴史が



大震災に想うこと

理事長 村上 義雄（一期生）

地震国であり、建築工法が火に弱
いと言う流れの中で生まれた言葉
に違ひなかつた。

大東亜戦争に負戦後、焼野原の
街が復興の途上「都市計画」「火事
に強い」「地震に強い」を念頭に
建築様式、ライフラインにも從来
に無い規則を設け、消防法の充実
や耐震設計を重要視した建築物が
多く建てられて來た。



第25号
発行所

〒157 東京都世田谷区成城
1-13-1
武藏工業大学付属中・高等学校内
電話 03-3416-4161
発行責任者 村上 義雄
編集責任者 村上 清水

他国からも羨ましがられる復興
と産業革命が起り、現在の吾が國
が有つたのではなかろうか。

急發展の上で、「火事には強いぞ」、「地震には強いぞ」と言う認識
の中で生活し、全てのものが安定
してきていた。否、此れ迄には幾
多の水害・津波災害・地震・噴火
の災害が有るには有つたが、今回
一月十七日早朝の阪神大震災の如
く人口密度の多い都会と、諸外国
への輸出入のコンビナートの有る
神戸に起きたと言う事は、今迄の
大きな被害の有つた地方に比較し
違つた意味を持つ様な気がする。
国家予算の見直し、流通経路変更
に依る収入減等、景気上昇に大分
影響を受けるに違ひない。

又、此の揺れが逆に景気浮揚に

なつて来るのかも知れないし、先

行き予断を許せない。

二月五日現在、死者五千二百五

拾人、行方不明六人、負傷者二万

六千八百四人、家屋の倒・損壊十

万七千六百拾棟である。

戦後復興時に見直した個々の規

準は処方へ行つてしまつたのだろう。

結果論では何とでも言えるが、

自分で思ったのには、一月一日を

前後して北海道、東北方面に地震

が有り帰省者に不安が有つた事は

記憶に新らしい、その直後東京に

も生まれて此の方感じた事の無い

直下型の揺れがあり、眠りを醒した

時何處かに大きな地震が無ければ

良いのにと思ったものである。

危険予知とか良く聞くが、その対

応は難しい。地中深く（今回は二

拾キロメートルであつた様だが）

内視鏡でも入れて覗くしか無いか

な。吾が同窓会も大分活発になつ

て来たが、まだまだである。総会

への参加も多くなつて來たが今年

には更なる参加者が來られる事を

望むし、多くの同

窓生諸兄の意見、

参加に交つて地震

でも揺れない基礎

造りに精進したい。

情熱を持つて動

いている理事の方

々をお忘れになら

ぬ様、諸兄方もど

んどん力になつて

下さい。

窓生諸兄の意見、
参加に交つて地震
でも揺れない基礎
造りに精進したい。
情熱を持つて動
いている理事の方
々をお忘れになら
ぬ様、諸兄方もど
んどん力になつて
下さい。



第19回 総会報告

■平成5年度活動報告(平成5年10月1日～平成6年9月30日)

平成5.11.5 第18回総会 於 東急ゴルデンホール
第1～4号議案 すべて承認されました。

懇親会 於 同会場

12.14 第1回 理事会(於 柏クラブ)
1)総会、懇親会報告、提示意見検討
2)『名簿3号』(平成6年版)印刷部数、内容検討
3)年間活動計画確認

平成6.1.7 第1回 編集委員会
1)『柏』23号 編集内容検討および確認

2.2 懇親ゴルフ大会小委員会

3.1 母校(高校)卒業式 村上理事長出席

3.10 『柏』23号発送

5.8～10 母校体育祭

5.13 第2回 理事会(於 柏クラブ)
1)卒業式、体育祭報告
2)『柏』編集委員会より報告、承認
3)『名簿作成委員会』結成の承認、
印刷部数の決定

5.28 第1回 名簿作成委員会
グラビア用写真選択、掲載内容決定

6.24 第2回 名簿作成委員会
記事、写真校正、その他

9.2 第3回 理事会(於 柏クラブ)
1)名簿作成委員会報告承認、委員会解散承認
2)名簿予約部数確認、収支検討
3)第19回総会開催要領について
4)第3回懇親ゴルフ大会開催要領確認

9.7 母校へ『名簿3号』贈呈 金野副理事長、清水理事出席

9.12 第2回 編集委員会
『柏』24号 編集内容検討および確認

10.16 第3回懇親ゴルフ大会(ブリティッシュガーデンクラブ)

10.28～31 『柏』24号発送

11.2 第4回 理事会(於 柏クラブ)
1)第19回 総会議案書検討
2)その他



■平成5年度決算報告(平成5年10月1日～平成6年9月30日)

<収入の部>	科 目	予算額	決算額	内 容
--------	-----	-----	-----	-----

入会金	600,000	550,000	41期生 259名	その他 16名
年会費	1,200,000	1,432,337	41期生 259名	その他 451名
引継金	3,794,292	3,794,292	前記より	
雜収入	50,000	89,035	預金利息	
合 計	5,644,292	5,865,664		

<支出の部>	科 目	予算額	決算額	内 容
--------	-----	-----	-----	-----

会議費	50,000	50,930	理事会 4回
総会費	50,000	101,110	総会援助金
『柏』制作費	50,000	11,068	編集委員会 2回、その他

(3)平成7年2月発行 武藏工業大学付属中・高等学校同窓会報

通 信 費	701,970	779,307	柏22.23号発送費	761,080円
			その他	18,227円
印 刷 費	650,000	786,734	柏22.23号	564,070円
			その他	222,664円
発送アルバイト費	171,600	178,000	柏22.23号発送	
事 務 費	50,000	13,002	事務用品費	
同窓会賞費	50,000	50,000	テレホンカード	
小委員会費	50,000	8,000	小委員会1回	
名簿整備費	50,000	50,000	名簿登録、修正費	
予 備 費	50,000	0		
縹 越 金	3,720,722	3,837,513		
合 計	5,644,292	5,865,664		

普通預金口座残高	185,441円
定期預金口座残高	3,474,816円
郵便振替口座残高	40,368円
現 金	32,207円
合 計	3,732,832円

上記のとおり平成5年度の会計報告をいたします。

平成6年11月11日 会計 上島正義 印

会計 今井章久 印

上記、会計内容を監査の結果、正しく表示掲載されていることを認めます。

平成6年11月11日 会計監査 秋山知康 印

会計監査 今村恒雄 印

■平成6年度予算(平成6年10月1日～平成7年9月30日)

科 目	予算額	内 容
入 会 金	560,000	42期生 260名 その他 20名
年 会 費	1,440,000	42期生 260名 その他 460名
引 繙 金	3,837,513	前期より
雑 収 入	60,000	預金利息
合 計	5,897,513	

科 目	予算額	内 容
会 議 費	50,000	理事会4回
総 会 費	150,000	総会援助金
『柏』制作費	50,000	『柏』編集委員会4回、取材費
通 信 費	950,000	柏24号 3900部×80円 4200部×90円 690,000 柏25号 3500部×80円 280,000×0.91 254,800 その他 5,200
印 刷 費	650,000	柏24.25号 各9000部 500,000 封筒(2種類、各5000) 101,000 その他 49,000
発送アルバイト費	180,000	柏24.25号発送
事 務 費	50,000	事務用品
同窓会賞費	50,000	体育祭同窓会賞
小委員会費	50,000	親睦企画委員会、その他小委員会
名簿整備費	50,000	名簿整備アルバイト費
記念樹費	50,000	母校へ『柏の木』寄贈
予 備 費	100,000	
縹 越 金	3,517,513	縹越金、未取引当金
合 計	5,897,513	

総会・懇親会報告

同窓会事務局長 阿部俊夫

『慣れてしまう』とは恐ろしいことで、私が同窓会の役員となってから十三年、この間、総会、懇親会は毎年開催され、その時々の役員は一人でも多くの会員に参加してもらえた』を合言葉に最大限の努力をはらつてまいりました。しかし、残念ながら三十人を越えることはありませんでした。

今回の総会を前に理事会では『より大胆な方向性』を検討しました。その代表例が『会費三〇〇円』でした。

総会が始まったとき、例年より多めに用意した参加者席が全部ふさがっている状況に、予想したとはい空席がある状況に慣れてしまつた私は久しぶりに足の震える思いをしました。

懇親会でも五十人近い皆さん、同級生はもう論、年齢を越えたクラブの上りが見られ、例年は理事の方々が一人で見えた会



「総会報告」に聞き入る

会を開催できました。参加いただいた皆様に感謝致します。しかし、この結果は私共の目標の小さな一步と認識しております。本年度はさらに倍に、来年度はその倍にと参加者の輪を広げたいと考え、実現に向けて努力してまいります。

本年度の総会・懇親会は

十一月十日(金)
午後六時三〇分より(遅刻可)
会場 東急ゴールデンホール(渋谷)

により開催されます。同級生、先輩、後輩と誘い合せてご参加ください。



△懇親パーティのセレモニー△

定年雑感——“あつという間に”三十四年

英語科 田 中 義 明

今号は昨年の八月に定年となられ、現在まで嘱託をなされております英語科の田中義明先生に、在職中の思い出を語っていただきました。授業を受けたことのある同窓生であれば、あの懐かしくも緊張の連続の時間を忘ることはできないでしょう。||



「老齢その任に耐えず」ということで、長年勤めさせて戴いた本校とで、長年勤めさせて戴いた本校をこの三月で定年退職することになりました。中学生の時に“before you could say Jack Robinson,” いましたが、正に“あつ”という間に三十四年間が過ぎ去ったわけです。

私が本校に着任したのは昭和三

十六年四月のこと

方も皆若く、学校全体が若々しい活気に溢れていた様な気が致します。爾来今日迄の間には数え切れぬ程の多くの思い出がありますが、特に鮮烈なそれは、悪童連に背広を着たま、ブールに投げ込まれたことです。文字通り“水のし

たるようないい男”になつた次第でした。その悪童連も今ではもう五十才になろうとしています。

又、昔の教え子の御子息を教える羽目に至つた時には、自分も遂に「チップス先生」(註・名作“James Hilton: Good-bye Mr. Chips,”)になつたかと、深い感銘と同時に一抹の寂しさを感じです。

他なりません。心から有難く厚く御礼申し上げる次第です。末筆ながら、皆々 様の益々の御多幸と本校の一層の御発展を心からお祈り申し上げます。取留めの無い回想をまとめて、定年雑感とさせて戴きました。



原稿募集

編集委員会では、同窓生の皆様の近況・随筆等幅広く記事を募集致しております。卒業生の皆様方の存在をアピールする忌憚のない投稿をお待ち致しております。



理事會報告

事務局長 阿部俊夫

一 懇親会費について

同窓会にとつて幾つかの克服すべき問題がありましたが、現状、最大の問題は総会・懇親会にいかに多くの会員に参加いただけるかです。例年このために種々検討し、それなりに努力してきました。しかし、満足すべき結果は得られませんでした。

理事会の役員も三十代の比率が増え、過去の経験を新たな発想の糧として大胆な行動をしてみようとの機運が生まれてきました。懇親会には毎年援助金の名目で赤字分の補助を行ってきました。今回はこの分を加味し、「最低限度の金額設定で会社の帰りにチョット一杯の気分で来てもらえないだろうか、参加してもらえば企画については自信があるし、また来ようという気持ちになつていただけるのは」との発想で三〇〇〇円の金額設定としました。

総会後の理事会での試みはほぼ見込みを達成できただけました。しかし「最低でも三桁の人数」が理事会の目標です。本年度は同窓会

結成から二十回目の記念総会になります。その意味でも理事会では前回以上の企画を検討し、今回の二倍以上の皆さんの参加を目標としました。

この目標が達成されると昨年までの会場では狭くて入りきれないことになります。このため会場は昨年の二倍のスペースで予約しました。今回参加された皆さんには『来年は各自が一人には電話で呼びかけよう』と約束いただきました。呼びかけがあつても、なくてもご参加ください。

本年度の総会・懇親会は

十一月十日(金)

午後六時三〇分より(遅刻可)

場所 東急ゴールデンホール(渋谷)
です。今からスケジュールに入れてください。
さい。参加をお待ちしています。

三 同窓会結成二十周年について

この三月に四十二期生が卒業します。同窓会

も再建以来二〇年を迎えます。

梅田博夫(十六期生) 柴 隆昭(八期生)
宮原 茂(三十四期生) 中澤 宏(十三期生)



改築校舎全景(パース)

平成六年度 同窓会新任理事紹介

近況報告

成城の「モスラ」から都市の「土竜」へ



昭和四十五年度卒

米 島 賢二 (十七期生)

みなさん
こんにちは。

私は昭和三
十九年に付
属中学に入
学した米島

賢二です。私が入学した昭和三
十九年は付属高校・中学が成城に移
つた最初の年であり、大変きれい
な校舎がありました。あれから三
十年が経過し、全面改築が最近な
されたとのお話を伺い、年月の流
れを感じました。

学校の周辺は東宝撮影所や砧フ
アミリーパークがあり、なかなか
楽しい環境であったと記憶してお
ります。

私の在学当時、東宝撮影所はゴ
ジラやモスラといった特撮の人気
が一段落した頃で学校から駅に向
かう途中では撮影に使用する大水
槽や戦艦の模型、ゴジラのぬいぐ
るなど、珍しいもので賑わっていました。

また、砧フアミリーパークにも
仲間とよくボールを持って出かけ、
サッカーやラグビーをして夕方ま
で遊んだ楽しい思い出があります。
六年間の在学中には色々な先生
にご指導を受けました。中でも最
も印象に残る先生は数学の柴田先
生です。先生は日比谷高校で停年
を迎えた後、本校に来られた
年輩の先生で数学用語の「対数」
や「 $\sqrt{\cdot}$ 」等の正しい読み方を良く
指導していただきました。今でも
「十を底とする○○の対数」だと
か「 a^b 」のことは「 a の b 乗」といふよ

るみなどが置いてあるのが覗けま
した。また、撮影所内や道路にお
いても時々映画やテレビ（ケンチ
やん、チャコちゃん）の撮影が見
られましたし、あの有名な今は亡
き石原裕次郎さんのお屋敷等もあ
り、この付近は映画の街なんだな
と少年時代に感じていました。

私は幼少の頃、都電通りのすぐ
そばで育ちました。その関係から
か、鉄道が大好きになり、中学か
ら大学までずっと「鉄道研究部」に
在籍しておりました。そして大学
の土木工学科を卒業し、當団地下
鉄に就職しました。

當団では新線建設を担当する建
設本部に配属になりました。
高速鉄道の計画や半蔵門駅、王子
駅、南北線・飯田橋駅の建設
工事に携わりました。そして今は
當団から国鉄の分割民営化により
生のところに必ず伺つたこと、高
齢にもかかわらず遠足の山登りに
同行されたり、「きちんととした背広
の着こなし等感心したことが多く
思い出されます。その先生も数年
前に八十八歳で亡くなられてしま
い残念に思います。私と近い年代
の方々の中には同様に感じている
方がたくさんおられることが多い
と思います。

私は幼少の頃、都電通りのすぐ
そばで育ちました。その関係から
か、鉄道が大好きになり、中学か
ら大学までずっと「鉄道研究部」に
在籍しておりました。そして大学
の土木工学科を卒業し、當団地下
鉄に就職しました。

當団は地下鉄を日本で一番最初
に建設した銀座線を引継ぎ、日本
で一番営業キロが長い地下鉄事業
者です。しかしながら当研究所に
来て広く横並びに各都市の地下鉄
を見てみると建設技術や駅・車両
設備等のすべての面で一番すばら
しい技術やアイデアを持つてい
るかと言うと必ずしもそうではな
いことに気付きました。それぞれ
の地下鉄事業者は地域環境に合つ
た設備やお客様が利用しやすいよ



東葉

第3回 懇親ゴルフ大会開催される

同窓会では『会員諸氏の親睦、情報の交換・交流をはかる目的』でゴルフコンペを催しております。

すでに3回目を迎えることとなり、参加者も次第に増えつつあります。当初の会場が都合により変更となり、下記要領で開催されました。

- 開催月日 平成6年10月16日(日) 天候・晴れ
- 開催場所 British Garden Club (山梨県都留市)
- 参加人数 16名 (4組)
- 競技方法 ダブルペリア方式



		成績	OUT	IN	TOTAL	HOLD	NET
1位	石垣与八郎(16期生)	50	41	91	16.20	74.80	
2位	村上義雄(1期生)	47	43	90	12.96	77.04	
3位	梅田博夫(16期生)	50	52	102	23.76	78.24	
4位	河野良典(24期生)	51	49	100	20.52	79.48	
5位	梅田美津子(—)	53	51	104	23.76	80.24	
6位	長谷部伸一(21期生)	53	49	102	21.60	80.40	
7位	笠原明雄(24期生)	50	48	98	17.28	80.72	
8位	加藤直樹(24期生)	55	49	104	21.60	82.40	
9位	月村彰男(15期生)	53	53	106	22.68	83.32	
10位	住吉英弘(13期生)	55	49	104	20.52	83.48	
11位	棚橋保(24期生)	52	49	101	17.28	83.72	
12位	岡田光雄(16期生)	49	55	104	18.36	84.64	
13位	山岡昭夫(24期生)	62	54	116	28.08	87.92	
14位	岩本征義(7期生)	63	59	122	29.16	92.84	
15位	白井康雄(24期生)	75	58	133	40.00	93.00	
16位	小池邦彦(24期生)	75	68	143	39.96	103.04	

ドラコン：石垣与八郎 ニアピン：村上義雄

《ひと言》

河野良典(24期生)

武藏工大付属中高同窓会の役員の皆様、ご苦労様です。

私事で恐縮ですが平成2年9月に父を亡くして以来家業を継ぎ、無我夢中でやって参りました。

それこそ車を運転しながら車内で足踏み、57kgしかない細身の両肩に社員30人のどっしりとした重圧が24時間掛り放しと言った感を免れない状態で過ごして参りました。

ゴルフにしても、頭ペコペコの接待ゴルフ、年配の方が大多数を占める土木業界のおじさんゴルフと、お付き合いに行くゴルフは、参加する事に意義があるゴルフでしかありません。

この同窓会誌「柏」を読み、たまには気分転換になるからと同期の友人と連絡をとり、誘い合わせさせて戴きました。当日はとても楽しい1日を過ごす事ができ、本当に責任のなかった学生時代に戻った様な錯覚を覚え、卒業以来20年近く経ってもその月日の空間はほんの束の間で埋まってしまうものなんだなど、改めて学生時代の友人の大切さを痛感しました。

当日は4位の人が「ひと言」の原稿を書くと決められていると聞き、嫌な予感がしたのですが案の定、賞品が戴けないどころか、中・高・大と文章が大の苦手の私にその役が回って来るとは……。

原稿用紙を机の上に置いて1時間経っても2時間経っても白紙のまま……。

今後この仲間の輪が大きく広がり、本人だけではなくファミリーで楽しめるいろいろなイベントを計画して戴ければ、是非参加させて戴きたいと思っております。(私、扶養家族を4人も抱えておりますので…)

——これに懲りずに今後とも是非、参加して下さい。原稿は編集部にご一報下さればお手伝いするよう努力いたしますので。お忙しいところ有難うございました。——

なお、次回(第4回)懇親ゴルフ大会のご案内は最終ページをご覧下さい。



~~~ 第4回懇親ゴルフ大会開催のご案内 ~~

- 1 開催日 平成7年10月15日(日曜日)
2 場所 British Garden Club(山梨県都留市)
3 ゲーム方式 ダブルペリア方式(18ホールズ、ストロークプレー)
4 募集人員 5組(20名)
5 プレー費 21,600円—各自負担(食事代のみ除きます)
6 会費 2,000円—同一



〈申し込み方法〉

参加希望者は官製ハガキに ①氏名 ②卒業年度 ③連絡先(住所、電話番号) ④H.C.Pを記載のうえ、5月末日までに担当理事(16期生 梅田)まで、ご郵送下さい。なお、ハガキを受領後こちらからご連絡をさし上げます。

●郵送先 〒166 杉並区成田東5-15-21-1206 梅田博夫 Tel.03-3392-6220

武藏工業大学付属中・高等学校同窓会懇親ゴルフ実行委員会 実行委員長 梅田博夫(16期生)

数学の教鞭をとつておられた上原誠之先生が平成六年十一月九日にご逝去されました。昭和三十四年四月より三十五年と八ヶ月間の永きに亘るご在職で、鉄道研究部の顧問としてもご活躍されました。



ここに卒業生一同心よりご冥福をお祈り申し上げます。



訃報

編集後記

先日、母校を訪ね足場が取れてくれた造・改築中の校舎内にヘルメットを被り工事主任(鈴木健生氏、十四期生)に案内していただいた。

成る程、完成してきた部屋の中はとても明るく塗料の香りが漂よい気分がフレッシュになる。反面この新しさがいつ頃まで持続できるのかは生徒さん方の「行動」「心掛け」と「優しさ」次第。主任もそうおっしゃっていた。三月末の竣工。工事に拍車が掛っている。同窓会寄贈の「柏の木」も計画どおりとのご返事。お世話になります。

今年の体育祭(五、六月頃)、柏苑祭(十月)には是非とも会員の皆様方のご訪問を。同窓会の受付並びに部屋を確保できるようお願いする予定です。

さて、巻頭言にもありますが先月一月十七日、神戸を中心とする大地震発生。報道特番では毎日のように「ボランティア」と。ボランティアに出向くことのできない囚われの身の私は歯痒いばかり。ボランティアの方々、本当にご苦労さまで。礼。

この「ボランティア」が日常の身近なところで極く自然に生活に融け込んで行なえる社会が本当に「豊かな社会」なのでは。現代社会が忘れかけている「ヒューマニティ」を垣間見たような。など、またまた考えさせられてしましました。

本同窓会は、価値感の異なる分野の同窓生が簡単に出逢え又、交流できる場として提供してゆけたらと一同願っております。皆様のご意見ご投稿も併せて、お待ち致しております。

(清水記)